

解答例[専門領域問題]助産学コース

I. 以下の文章を読み、問1～問7に答えなさい。

Aさん 33歳の初産婦。既往歴はない。妊娠経過は順調。妊娠40週6日、2時30分頃、トイレに起きた時、羊水が多量に流れた。病院に連絡し3時30分に破水で入院となった。同日の14時頃から15～10分間隔で20～30秒程度、腹部が痛くなってきた。15時30分頃から腹部の痛みが9～8分間隔で20～30秒になってきた。次の日の2時15分の内診所見は、子宮口9cm開大、展退度90%、Station+1、子宮頸管の硬度は軟、子宮口の位置は前方、大泉門を6時方向に触れた。30分後に子宮口全開大し、3時55分に経膈分娩により3,000gの男児を出産した。8分後に胎盤は自然に娩出され、子宮収縮は良好であった。Aさんの体温37.0℃、血圧126/78mmHg、脈拍82/分、出血量410gであった。

児のアプガー(Apgar)スコアは1分後9点(皮膚色-1)、5分後10点、臍帯動脈血pH7.28、体温36.6℃、呼吸数60/分、心拍数150/分であり、出生直後から元気な啼泣があった。Aさんから、早期母子接触(STS)をしたいとの希望があった。

問1. Aさんの破水の状態を示す適切な組み合わせを、以下の1)～6)の中から選びなさい。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1) 高位破水、適時破水 | 2) 低位破水、適時破水 |
| 3) 高位破水、前期破水 | 4) 低位破水、前期破水 |
| 5) 高位破水、早期破水 | 6) 低位破水、早期破水 |

問2. 低位破水と高位破水について説明しなさい。また、妊婦が自宅で破水した時の対応と注意点について説明しなさい。

低位破水は、胎児先進部より低い位置(胎胞部分)で卵膜が破綻して羊水が流出したもの。羊水の流れ出る量は高位破水よりも多く、動いている時に羊水が流出し、安静時でも流れ出る感覚があることが多い。

高位破水は、子宮口から離れた場所で卵膜が破れ、羊水が流れ出るものをいう。低位破水よりも流れ出る羊水の量が少ないケースが多く、妊娠後期は尿漏れしやすい時期でもあるので、尿漏れとの判断が難しい場合がある。

破水したら、清潔な大きめのナプキンをあてて、すぐに病院へ連絡する。お風呂やシャワーには入らない。量が多いときはバスタオルを腰に巻いて、病院へ行く。

解答例[専門領域問題]助産学コース

問3 この事例の分娩第Ⅱ期の時間を計算方法とともに答えなさい。

1時間10分：2時45分に子宮口全開大となり、3時55分に児を娩出したため、2時45分から3時55分が分娩第Ⅱ期時間となる。

問4 新生児蘇生法のアルゴリズム 2020 に基づいて出生直後の新生児のチェックポイントとケアについて説明しなさい。

出生直後の新生児のチェックポイント

- ・早産児かどうか
- ・弱い呼吸・啼泣の有無
- ・筋緊張低下の有無

ケア

- ・皮膚乾燥させる、乾燥したタオルなどでの身体の水分（羊水）を拭きとる。
- ・保温する
- ・気道開通を行う、肩枕などを使用して体位の保持

問5 Aさんと新生児についてアセスメントを行い、早期母子接触（STS）の実施の可否について記述しなさい。

Aさんは、早期母子接触を希望しており、出産後のバイタルサイン、出血量も正常範囲内、分娩所要時間は12時間48分で初産婦として平均的な時間であり、疲労が著しい状態とは考えられない。Aさんは、早期母子接触の基準を満たしている。

在胎週数40週6日で正期産新生児であり、体重3300gで低出生体重児ではない。アプガースコア1分後の点数は、皮膚色-1点の9点であり、啼泣あり、臍帯血PHの値からも胎児はアシドーシスはなく、新生児仮死を起こしていない。

Aさんと新生児は、早期母子接触の適応基準*を満たしており、早期母子接触を実施できる状態であると思われる。

*日本周産期・新生児医学会の適応基準

Ⅱ. 女性の更年期と男性の更年期の相違に着目し、それぞれの更年期について説明しなさい。

女性の更年期と男性の更年期の相違

男性の性ホルモンは40歳代から70歳代と加齢によって長期間にわたり緩やかに下

解答例〔専門領域問題〕助産学コース

降するのに対し、女性の卵巣機能は40代後半～50代に低下し、閉経に伴い急速に低下・喪失する。そのため、女性は更年期症状を急に感じるようになるが、男性は40歳代から70歳代と長い期間にわたり緩やかに更年期になる可能性がある。

女性の更年期は、日本人の閉経(1年間月経がない状態)平均年齢50.5歳の前後10年間を更年期(周閉経期)とされている。加齢とともに卵巣から分泌されるエストロゲン量が低下し、これに伴い身体の機能低下が起こる。またこの時期には社会環境の変化も起きることが多く、身体的、精神的症状が現れるのを更年期障害としている。エストロゲンの低下はすべての女性に起こるが、全員が深刻な更年期障害を起こすわけではなく、更年期障害を起こす背景には、心的ストレスや性格的なものが強く影響しており、更年期障害の症状の程度には個人差がある。

更年期症状のおもな症状として、

- ・血管運動症状(ほてり、のぼせ、発汗、冷えなど)
- ・精神症状(イライラ、不安、不眠、抑うつ、無気力)
- ・関節などの症状(腰痛、関節痛、肩こり)
- ・めまい、耳鳴り、頭痛、動悸、息切れ、疲労感、皮膚症状(乾燥、かゆみ、湿疹など)などがある。

男性の更年期(男性更年期障害加齢男性性腺機能低下症候群またはLOH 症候群[late onset hypogonadism])は、加齢に伴いテストステロン値が低下することで起こる。

男性更年期症状のおもな症状として、

- ・性機能関連症状:性欲の低下やED(勃起障害)
- ・精神・心理症状:抑うつ感や落胆、不安、疲労感、倦怠感、記憶力や集中力の低下など
- ・身体症状:発汗やほてり、睡眠障害、関節・筋肉関連の症状など
 - ・リビドー(性欲)と勃起能の質と頻度、とりわけ夜間睡眠時勃起の減退
- ・知的活動、認知力、見当識の低下および疲労感、抑うつ、短気などに伴う気分変調
- ・睡眠障害、筋容量と筋力低下による除脂肪体重の減少、内臓脂肪の増加、体毛と皮膚の変化、骨減少症と骨粗鬆症に伴う骨塩量の低下と骨折のリスク増加などがある。

性腺機能低下症ガイドラインより

Ⅲ. 包括的性教育について説明し、あなたが考える助産師の包括的性教育の役割について記述しなさい。

・包括的性教育の説明:

性行為に関する知識だけでなく、ジェンダー平等や性の多様性のような人権尊重を基盤

解答例〔専門領域問題〕助産学コース

にした性教育のことをいう。包括性教育で学ぶ内容として、①人間関係、②価値観、人権、文化、セクシュアリティ、③ジェンダーの理解、④暴力と安全確保、⑤健康とウェルビーイング（幸福）のためのスキル、⑥人間の身体と発達、⑦セクシュアリティと性的行動、⑧性と生殖に関する健康などが、が挙げられている。

（国際セクシュアリティガイダンスより）

・包括的性教育における助産師の役割の解答例：

包括的性教育は、幼児期から親が行うことが望ましいとされているが、性と生殖に関する知識を含むため、保護者や教員は苦手意識をもつ者が多く、家庭や学校における性教育については課題が多い。助産師は性と生殖に関する専門職であるため、幼児から高校生までを対象に生命と性の健康教育を行うことが可能であると考えられる。

包括的性教育を進めていくには、子ども達への性健康教育だけでなく、親が子どもへ包括的性教育を行えるよう、親への支援が必要だと考える。親への具体的な支援として、親が子どもへの伝え方が難しいと感じる性教育の知識や子どもへの知識の伝え方、親が困った時に相談できる場所や人、セクシュアリティなどの保護者が苦手とする知識や情報の提供が助産師の役割として重要だと思われる。

解答例〔専門領域問題〕助産学コース

出題意図

〔専門領域問題〕

助産学コース

周産期及び心身の健康に着目したライフステージにおける性と生殖に関する健康に関する問題を作成した。問題Ⅰの問1から問3は分娩期、問4と問5は分娩直後から出生後2時間までの母児の助産ケアを行うのに必要な基本的知識とアセスメント力を問う問題とした。

問題Ⅱは、男性と女性の更年期の基本的な知識を問う問題、問題Ⅲは身体や生殖の仕組みだけでなく、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等、幸福など人権尊重を基盤にした幅広いテーマを含む包括的性教育の理解度とこの教育における助産師の役割についての考えを記述する問題とした。